

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 三菱製紙株式会社

コード番号 3864 URL <http://www.mpm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 首藤 正樹

TEL 03-5600-1407

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	100,567	△0.8	△1,176	—	△1,281	—	△646	—
25年3月期第2四半期	101,350	12.5	1,870	—	1,268	—	556	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △59百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,006百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△1.89	—
25年3月期第2四半期	1.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	259,747	—	55,349	—	20.1
25年3月期	265,234	—	55,370	—	19.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 52,227百万円 25年3月期 52,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	210,000	4.6	1,700	△49.0	1,000	△62.5	2,000	17.0	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	342,584,332 株	25年3月期	342,584,332 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	672,034 株	25年3月期	658,609 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	341,918,119 株	25年3月期2Q	341,937,293 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 4
3. 四半期連結財務諸表	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
四半期連結損益計算書	P 7
四半期連結包括利益計算書	P 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 9
（継続企業の前提に関する注記）	P 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P 9
（セグメント情報等）	P 9
（重要な後発事象）	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、主力の洋紙事業における市況環境悪化の影響が大きく、依然として厳しいまま推移いたしました。このような状況下、第1次中期経営計画フェーズ2「成長に向けての収益基盤強化」の実現に向けた諸施策の実施により、収益力の改善に取り組んでまいりました。

紙・パルプ事業につきましては、印刷用紙国内市況の大幅な低迷下、価格改定の打ち出しや減産の継続により価格復元に努めましたものの、販売数量・金額とも減少いたしました。

イメージング事業につきましては、写真感光材料の海外市場環境悪化による販売数量の減少がありましたものの、円安の影響等により販売金額は増加いたしました。

機能材事業につきましては、不織布の水処理膜用支持体や、カーエアコン向け・家電向けフィルターの増販等により、販売金額は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,005億6千7百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。損益面では、工場の生産性向上や固定費削減によるコストダウン効果等の増益要因がありましたものの、洋紙の価格安・数量減少、円安による原燃料高に加え、主力の八戸工場における設備事故の影響等があり、12億8千1百万円の連結経常損失（前年同四半期は連結経常利益12億6千8百万円）となりました。純利益につきましては、中川工場跡地の損害賠償請求訴訟に伴う和解金の特別損失への計上、投資有価証券売却益の特別利益への計上等があり、6億4千6百万円の連結四半期純損失となりました。

○紙・パルプ事業

主力製品である印刷用紙につきましては、前期において景気低迷や輸入紙シェア高止まりの影響により国内市況が大幅に下落したことから、今期に入り価格修正を実施いたしました。販売数量・金額とも減少いたしました。

欧州子会社におきましては、主要市場であるヨーロッパでノーカーボン紙及び感熱紙の販売数量は減少いたしました。円安の影響により販売金額は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の紙・パルプ事業の売上高は777億2千万円となり、前年同四半期に比べ26億5千6百万円減少し、17億6千5百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益15億9千9百万円）となりました。

○イメージング事業

国内市場におきましては、写真感光材料や印刷製版材料が堅調に推移しましたが、インクジェット用紙の需要が低迷し、販売金額は減少いたしました。

海外市場におきましては、インクジェット用紙を中心に販売強化を進めましたが、写真感光材料の競争激化による市場環境の急激な悪化の影響が大きく、販売金額は減少いたしました。

米国子会社におきましては、写真感光材料の市場環境悪化により販売数量は減少いたしました。円安の影響により販売金額は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のイメージング事業の売上高は208億4千3百万円となり、前年同四半期に比べ6億9千万円増加し、営業利益は4億2千7百万円と、前年同四半期に比べ3億8千3百万円増加いたしました。

○機能材事業

不織布につきましては、水処理膜用支持体をはじめとする主要製品の販売が増加し、フィルターにつきましては、カーエアコンや家電向けの拡販の結果、それぞれ販売金額は増加いたしました。

リライト商品につきましては、海外向けは増加いたしましたものの、国内需要が減少し、販売金額は横ばいとなりました。

その他、蓄熱カプセル、キャパシタ用バッテリーセパレータ、RC紙派生商品等につきましては、販売金額は増加いたしました。

KJ特殊紙株式会社につきましては、化粧板原紙、壁紙原紙の増販等により、販売金額は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の機能材事業の売上高は76億2千6百万円となり、前年同四半期に比べ9億2百万円増加いたしました。営業利益は1千2百万円と、前年同四半期に比べ1億2千万円減少いたしました。

○その他

その他につきましては、工務関連子会社、倉庫・運送関連子会社の売上高減少等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は80億6千7百万円となり、前年同四半期に比べ5億6千万円減少し、営業利益は1億3千3百万円と、前年同四半期に比べ8百万円減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金や投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ54億8千6百万円減少し、2,597億4千7百万円となりました。

負債は、有利子負債や支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ54億6千6百万円減少し、2,043億9千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ2千万円減少し、553億4千9百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し、20.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

一部の在外連結子会社において、改訂後の I A S 第19号「従業員給付」（平成23年6月16日改訂）を平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用しており、未認識数理計算上の差異等の処理方法及び表示方法の変更等を行っております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,337	5,695
受取手形及び売掛金	46,646	41,633
商品及び製品	32,976	33,031
仕掛品	7,922	8,755
原材料及び貯蔵品	11,482	11,418
その他	5,348	6,442
貸倒引当金	△392	△379
流動資産合計	109,321	106,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,411	31,758
機械装置及び運搬具(純額)	66,051	65,892
土地	22,626	22,887
建設仮勘定	1,639	1,484
その他(純額)	3,388	3,511
有形固定資産合計	126,117	125,534
無形固定資産		
その他	458	400
無形固定資産合計	458	400
投資その他の資産		
投資有価証券	25,116	22,548
その他	5,297	5,732
貸倒引当金	△1,076	△1,065
投資その他の資産合計	29,337	27,215
固定資産合計	155,913	153,149
資産合計	265,234	259,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,792	23,407
短期借入金	74,661	80,303
未払法人税等	264	338
その他	15,245	16,626
流動負債合計	116,962	120,675
固定負債		
長期借入金	79,998	70,112
退職給付引当金	8,473	8,904
厚生年金基金解散損失引当金	101	96
その他	4,326	4,609
固定負債合計	92,901	83,723
負債合計	209,864	204,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,756	32,756
資本剰余金	7,523	7,523
利益剰余金	8,883	8,236
自己株式	△138	△140
株主資本合計	49,024	48,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,775	3,698
為替換算調整勘定	626	1,119
在外子会社の退職給付債務調整額	△897	△967
その他の包括利益累計額合計	3,504	3,850
少数株主持分	2,841	3,122
純資産合計	55,370	55,349
負債純資産合計	265,234	259,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	101,350	100,567
売上原価	84,981	87,050
売上総利益	16,369	13,516
販売費及び一般管理費	14,498	14,693
営業利益又は営業損失(△)	1,870	△1,176
営業外収益		
受取利息	31	27
受取配当金	337	333
受取保険金	29	275
為替差益	—	233
その他	649	410
営業外収益合計	1,047	1,280
営業外費用		
支払利息	1,320	1,252
為替差損	186	—
その他	142	133
営業外費用合計	1,649	1,385
経常利益又は経常損失(△)	1,268	△1,281
特別利益		
固定資産処分益	1	4
投資有価証券売却益	717	2,682
補助金収入	236	—
その他	40	55
特別利益合計	995	2,742
特別損失		
固定資産処分損	174	177
投資有価証券評価損	831	0
特別退職金	8	3
移転関連費用	172	—
訴訟和解金等	—	2,000
その他	26	29
特別損失合計	1,213	2,211
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,050	△750
法人税等	592	△207
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	457	△543
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△98	103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	556	△646

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	457	△543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,446	36
為替換算調整勘定	△28	438
在外子会社の退職給付債務調整額	—	△98
持分法適用会社に対する持分相当額	10	106
その他の包括利益合計	△2,464	483
四半期包括利益	△2,006	△59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,816	△300
少数株主に係る四半期包括利益	△190	240

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙・パルプ 事業	イメージ ング事業	機能材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,344	14,200	5,444	97,989	3,360	101,350	—	101,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,032	5,952	1,279	9,264	5,267	14,531	△14,531	—
計	80,377	20,153	6,723	107,254	8,627	115,881	△14,531	101,350
セグメント利益	1,599	43	132	1,775	141	1,917	△47	1,870

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫・運輸関連業、エンジニアリング業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△47百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△14百万円、セグメント間取引消去△33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙・パルプ 事業	イメージ ング事業	機能材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	75,946	15,104	6,234	97,285	3,282	100,567	—	100,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,773	5,739	1,391	8,904	4,785	13,690	△13,690	—
計	77,720	20,843	7,626	106,190	8,067	114,257	△13,690	100,567
セグメント利益 又は損失(△)	△1,765	427	12	△1,325	133	△1,191	15	△1,176

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫・運輸関連業、エンジニアリング業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額15百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△12百万円、セグメント間取引消去28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。